

仙台西多賀病院 地域医療連携室だより vol.41

認知症疾患医療センター 開設1周年を迎えて

ごあいさつ

院長
武田 篤



前人未到とも言われる超高齢社会の到来により我が国の高齢者は増え続けています。仙台市も例外ではなく、75歳以上の人口が2035年にはほぼ倍増すると見込まれています。そして今からたった10年後には人口の5%が認知症と言う状況に陥ると予想されています。認知症患者が巻き込まれる事件や事故の報道もしばしば目にするようになって来ました。もはや大きな社会問題として待たなしの対策が求められています。

当院の認知症疾患医療センター（地域型）は昨年9月1日に開設されました。認知症の患者さんはしばしば医療機関を受診したくないと言う状況に配慮し、一度だけでも受診して頂くことで脳MRIや神経心理検査を含むスクリーニングを一通り完了できる様な体制を作り上げました。

これからの認知症診療は、特定の専門病院で完結できるものではありません。かかりつけ医の先生方、地域包括支援センター、そして行政関係各所など様々な方々と連携しつつ、認知症患者さんができるだけ住み慣れた環境で生活できるように、また事故のリスクをできるだけ少なくできるように配慮しながら、最も良い療養体制を構築できるようにサポートができればと考えております。当院の認知症疾患医療センターでは専任のケースワーカーや保健師を配置しており、ご家族からの日常生活上の種々の相談にも応じられる様にしております。引き続きご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

認知症疾患医療センター長
大泉 英樹



当院の認知症疾患医療センター（地域型）は昨年9月1日に開設され1年が経過しました。仙台市はもとより仙台市外からも多くの患者さんをご紹介いただきました。ご紹介いただきましたかかりつけ医の先生方にはこの場をお借りして心より御礼申し上げます。さて仙台市の認知症患者さんは約3万人から20年後には約5万人に増加すると推計されており、仙台市は「認知症化社会」にまさに直面しております。また、認知症患者さんは周辺症状と言わ

れる精神症状があり、ご家族の多大な精神的負担ははかりしれません。実際に認知症の介護うつは半数にも認められると言われており、患者さんのご家族の人生設計の変更をも余儀なくされる場合もあります。すなわち、患者さんはもとより患者さん家族もトータルで診療する必要がある疾患です。

このように、認知症はcommon diseaseであり、さらに診療に労力を要する病気であることからかかりつけ医の先生方、認知症疾患医療センター、地域包括支援センターが手と手を繋ぎ解決していかなければならない疾患と考えられます。この連携を深化させていただくことにより、よりよい医療を患者さんと患者さん家族に提供できると考えております。仙台市は地域の結びつきが強い都市であり、この地域連携が仙台市における認知症治療のアドバンテージとなっております。このアドバンテージを生かしながら安全で質の高い医療を提供し、地域医療に貢献してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

ご紹介下さい

国立病院機構仙台西多賀病院 仙台市認知症疾患医療センター



- もの忘れ外来予約 TEL: 022-245-1810
- 認知症に関する相談 TEL: 022-245-2122
- 受付時間 9:00~16:30 月~金曜日(祝祭日除く)



*診療は診療情報提供書が必須で完全予約制になります。受診の際には必ず事前に電話で申し込みをしてください。

～仙台西多賀病院の理念～ 「良い医療を安全に、心をこめて」

当院の骨粗鬆症の 治療と検査

高齢化に伴い、年々増加しているといわれる骨粗鬆症。日本では現時点で約1300万人の患者がいると推測されています。今回は当院で使用・実施している骨粗鬆症の治療薬と検査についてご紹介します。

リハビリテーション科医長

須田 英明



専門分野

脊椎外科・外傷・整形外科一般
認定医・専門医等

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医

人の骨は常に骨吸収と骨新生を繰り返し、しなやかさと強度を保っているといわれます。骨粗鬆症は、カルシウム不足、加齢、閉経後の女性ホルモンの低下等により、骨吸収が骨新生を上回るために生じます。

近年、骨粗鬆症の研究が進み、様々な薬剤が使用されるようになりました。治療薬は主に、血中のカルシウム濃度を上げるもの、骨代謝において骨吸収を上回るように骨新生を行う造骨細胞を活性化させるもの、骨吸収を行う破骨細胞を抑制するものに大別されます。今回は、当院で使用している主な骨粗鬆症治療薬と、骨粗鬆症の検査についてご紹介します。

骨粗鬆症の主な治療薬

①血中のカルシウム濃度を高める薬剤

○カルシウム製剤（アスパラCA等）

○活性型ビタミンD製剤（ワンアルファ、エディロール等）

食事で摂取したカルシウムを腸管で吸収することを促進します。骨吸収を抑制する作用もあります。骨粗鬆症に日光浴がいいといわれるのは、ビタミンDが日光で活性型に変換されるためです。高カルシウム血症に注意が必要です。

②破骨細胞を抑制する薬剤

○SERM（選択的エストロゲン受容体モジュレーター）（ビビアント等）

骨に対して女性ホルモンのような作用を示します。女性ホルモン類似薬ですので、女性のみ投与します。まれな副作用として深部静脈血栓などがあり、安静を保つ必要のある方には投与できません。

○ビスフォスフォネート（ボナロン、フォサマック等）

有効性が高い薬剤です。ただし、起床後すぐに内服し、内服後30分は食事禁止（薬剤の吸収が妨げられるため）、横になるのも禁止（食道に留まると潰瘍が生じるため）など制約が多い薬剤です。歯の治療を行う際は、顎骨壊死の報告があり、治療開始3か月前には内服を中止する必要があります。

③造骨細胞を活性化させる薬剤

○副甲状腺ホルモン製剤（フォルテオ、テリボン等）

唯一、骨を作る薬剤です。フォルテオは毎日の自己注射で合計2年間、テリボンは週に一度の静脈注射で合計1年半投与可能です。値段も他の薬剤に比較して高価です。

これらの薬剤を単独、あるいは組み合わせて治療を行っております。

骨粗鬆症の検査

骨粗鬆症の検査ですが、単純レントゲン像の骨陰影の濃淡では骨粗鬆症は診断できません。それは、単純レントゲン写真の撮影条件や軟部組織の影響があるからです。当院ではDEXA（Dual-energy X-ray absorptiometry）法を使用した正確な検査を行っております（図1）。骨粗鬆症を心配されておられます患者様や、そのようなご相談を受けておられます先生方は、ぜひ当院にご相談いただければと思います。



図1：Discovery X線骨密度測定装置



市民公開講座を開催しました

平成28年7月30日(土)

「パーキンソン病 市民公開講座」

共催：国立病院機構 仙台西多賀病院／アッヴィ合同会社
後援：一般社団法人全国パーキンソン病友の会宮城県支部

プログラム 座長：武田 篤院長（仙台西多賀病院）

【第1部 講演】

「パーキンソン病の症状と治療」

野元 正弘 先生（愛媛大学大学院医学系研究科 薬物療法・神経内科学 教授）

「パーキンソン病の外科治療」

永松 謙一 先生（国立病院機構 宮城病院 脳神経外科医長）

【第2部 Q&Aセッション】



7月30日(土) 仙台国際センターにて「パーキンソン病市民公開講座」を開催しました。
愛媛大学大学院医学系研究科 薬物療法・神経内科学 野元 正弘先生より「パーキンソン病の症状と治療」と題して、パーキンソン病のメカニズムから症状に応じた最新の薬物療法までのご講演をいただきました。また国立病院機構宮城病院 脳神経外科医長 永松 謙一先生より「パーキンソン病の外科治療」と題して、脳深部刺激療法(DBS)についてご講演いただきました。

会場には患者さんやご家族の方約250名が集まり、興味深く聞いておられました。

次回は、12/17(土) 仙台国際センターにて開催です。詳細は本誌5ページをご覧ください。ぜひご参加ください。

(管理課長 山本 等)

第2回認知症医療連携を考える会を開催しました

平成28年8月18日(木)

主催：第一三共株式会社

プログラム 【Opening Remarks】 仙台西多賀病院 武田 篤院長

【一般演題】 座長：仙台今村クリニック 今村 幹雄院長

「認知症疾患医療センターの現状について」

仙台西多賀病院 神経内科 大泉 英樹先生

【特別講演】 座長：仙台西多賀病院 武田 篤院長

「認知症：病態と治療の最先端」

筑波大学人間総合科学研究科 病態制御医学専攻

神経病態医学分野 教授 玉岡 晃先生



地域の医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等から61名のご参加をいただき、研修会を開催しました。認知症治療の最先端治療についてわかりやすくお話いただき認知症医療の理解を深める機会となりました。

当院の認知症疾患医療センターの現状について報告し、もの忘れ外来を活用していただけるよう周知しました。

(保健師 橋谷田 由美)

お越しいただいたボランティア活動より～ワークキャンプ開催！～ 平成28年8月31日(水)

学生ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました

8月31日(水)に、東北学院大学セツルメントサークルの集中ボランティア活動「ワークキャンプ」が行われました。ワークキャンプは今年で第57回目を迎え、毎年、学生ボランティアさんが、企画の立案、活動の実施を行っています。患者さんも、学生ボランティアさんとの関わりを楽しみにしており、毎年心待ちにしている行事の一つでもあります。今年、筋ジストロフィー病棟の車いす清掃や、病室への訪問活動、メッセージボードの作成を行ってくれました。

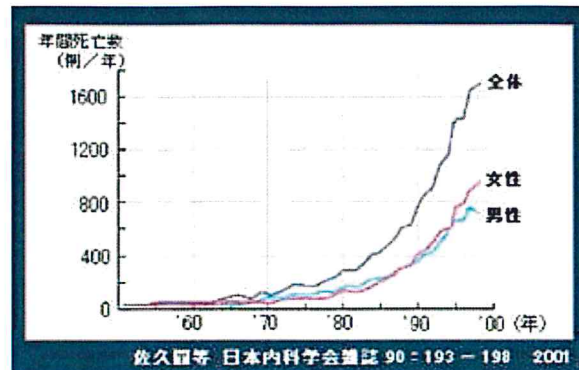
(児童指導員 戸谷 彩)



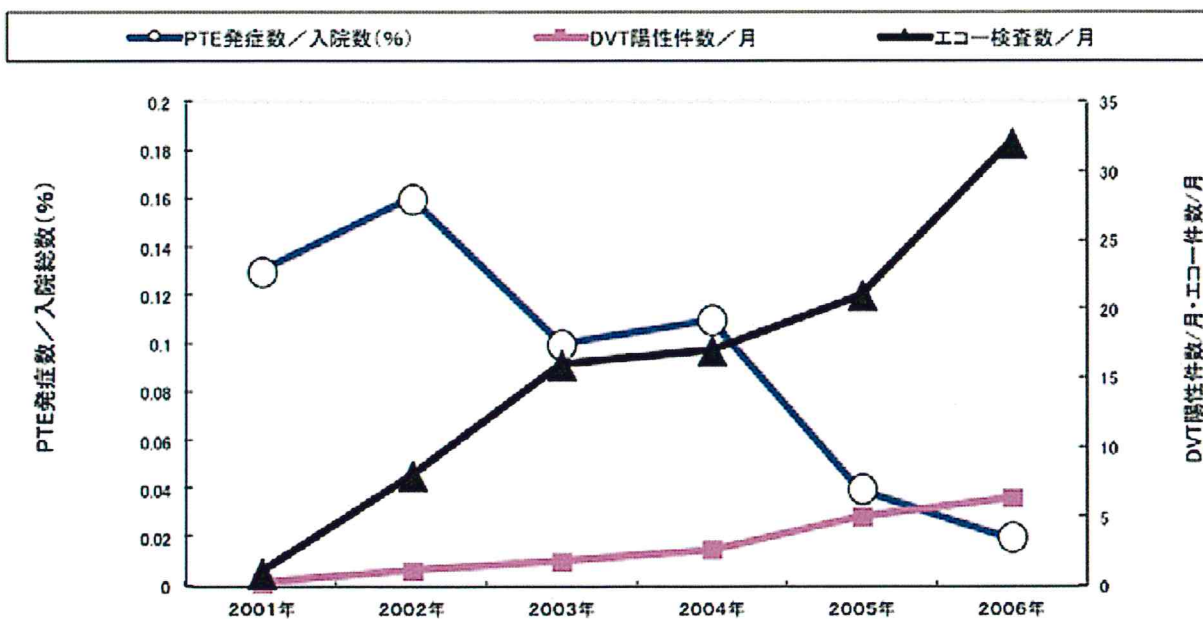
当院では肺血栓塞栓症の院内発症予防のために 下肢静脈エコー検査を実施しています。

肺血栓塞栓症（以下PTE）と診断された人の数は近年、増加しており、発症者数は年間に10万人あたり約3人程度と報告されています【図1】。この数は急性心筋梗塞症と比較すると少数ですが、大動脈瘤／大動脈解離と同程度で、決して少ない数字ではありません。最近、急性肺血栓塞栓症が注目されてきた理由の一つがこれです。

急性肺血栓塞栓症は他の病気と同様に自然に発病する例も多いのですが、何らかの医療行為が原因で発病する、いわゆる「医原性」と呼ばれる場合もあります。しかし、適切な予防をすることで、多くのPTE院内発症を防ぐ事ができるということでもあります。



【図1】



【図2】



当院では、PTEの院内発症予防のために下肢静脈エコー検査を積極的に行っています。エコーによる下肢静脈血栓の検索はPTE予防のために欠かせないものであり、我々は2007年にエコー検査実施による下肢静脈血栓検索の上昇がPTEの発症を減少させるという報告(2007年日本超音波医学会【図2】)をしています。下肢エコー検査は血栓の有無のみならず血栓性状や存在範囲も検索でき、PTEの院内発症予防に大きな効果があると言えます。

血栓ができた左下肢の写真。 右下肢に比べ腫脹があり、静脈炎により赤みが増している。

(副臨床検査技師長 三上 秀光)

医師の異動



よろしくお願ひいたします

平成28年10月1日採用

- ① 職名 氏名
- ② 専門領域
- ③ 認定医 専門医
- ④ ひとこと

- ① 神経内科医師 杉村 容子
- ② 神経内科一般
- ③ 日本内科学会認定内科医
- ④ 10月から仙台西多賀病院にて神経内科診療に携わることとなりました。より良い医療が提供できるように日々精進していきます。

市民公開講座を開催します①

市民公開講座「認知症映画上映会&講演会」

日時 2016年11月23日(水) 14:00~16:30(開場・受付 13:30)

会場 太白区文化センター2階 楽楽楽(ららら)ホール (宮城県仙台市太白区長町5丁目3-2)

内容 第1部 講演(30分)「もしかして、認知症?~早期受診のススメ~」
講演: 国立病院機構仙台西多賀病院 院長 武田 篤
第2部 映画上映(90分)「妻の病-レビー小体型認知症-」
演出: 伊勢 真一 制作: いせフィルム

主催 仙台市認知症疾患医療センター(国立病院機構仙台西多賀病院)

後援 仙台市 電話 022-245-2122

参加無料

認知症について一緒に考えてみませんか?



事前お申し込み受付(必須)

FAX: 022-245-2373 / 記載事項: 氏名・連絡先 TEL・参加人数・年代・性別 期限: 平成28年11月18日(金) / 担当: 橋谷田

市民公開講座を開催します②

「パーキンソン病 市民公開講座」

日時 2016年12月17日(土) 13:00~15:00

会場 仙台国際センター「萩」

総合司会 武田 篤 先生(仙台西多賀病院 院長)

講演 「パーキンソン病について」
高橋 良輔 先生(京都大学大学院医学系研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学 教授)
「パーキンソン病のリハビリテーション」
中江 秀幸 先生(東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授)

質疑応答

共催 国立病院機構 仙台西多賀病院/エフピー株式会社

後援 一般社団法人 全国パーキンソン病友の会宮城県支部

参加無料 定員200名



事前お申し込み受付(必須)

FAX: 022-243-2530 / MAIL: kanri2@nishitaga.hosp.go.jp 記載事項: 氏名・連絡先 TEL・参加人数 / 担当: 仙台西多賀病院 管理課 庶務班長

医療用 HAL® 導入決定!!

本文参考、画像出典 CYBERDYNE ホームページより http://www.cyberdyne.jp/products/LowerLimb_medical_jp.html

神経・筋難病患者向けの治療を実施するのは新潟病院、徳島病院に次いで3番目!

11月より、緩和進行性の神経・筋疾患の進行抑制治療を目的とする、世界初のロボット治療機器「HAL®医療用下肢タイプ」の導入が決定しました。

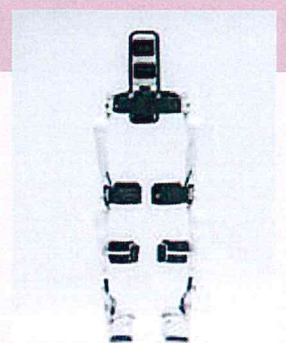
HAL®医療用下肢タイプとは?

身体に装着することにより歩行動作や立ち座りなどの身体運動を支援する機器です。

装着者の皮膚表面に貼りつけた電極を通して得られる、脳から筋肉に伝えられる神経信号の情報と内臓されたセンサから得られる情報とを用いて装着者の下肢関節動作をアシストします。

対象疾患

- ・脊髄症筋萎縮症(SMA)
- ・球脊髄性筋萎縮症(SBMA)
- ・筋萎縮性側索硬化症(ALS)
- ・シャルコー・マリー・トゥース症(CMT)
- ・遠位型ミオパチー
- ・封入体筋炎(IBM)
- ・先天性ミオパチー
- ・筋ジストロフィー



当院では、HAL®医療用下肢タイプを活用したリハビリテーション入院を実施予定です。

▲HAL®医療用下肢タイプ

◎ 仙台西多賀病院の外来は予約制です。

| 区 分 | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
|-----------------------|--------|----------------------|---------------------|----------------------|------------------------------------|---------------------|--------------------|
| 外 来 担 当 表 | 整形外科 | 新患 | 古泉 豊 | 川原 央 | | 国分 正一 | |
| | | 再 来 | 国分 正一 | 国分 正一 | 川原 央 | 古泉 豊 | |
| | | | | 両角 直樹 | | 三宅 公太 | |
| | | | | 八幡健一郎 | | 林 耕宇 | |
| | | 関節 | 新患 | | | 田村 則男 | 田村 則男 (第1・3・5週) |
| | 再 来 | | | | 大出 武彦 | 田村 則男 | |
| | せぼね・関節 | | 須田 英明 | 須田 英明 | 須田 英明 | 須田 英明 | |
| | 側弯症 | | | | | | 両角 直樹 ※1 |
| | 神経内科 | 新患 | 東北大学医師 | 高橋 俊明 | 武田 篤 | 吉岡 勝 | 金原 禎子 |
| | | 再 来 | | 田中 洋康 | | 大泉 英樹 | |
| 内 科 | | 三浦 明 | 三浦 明 | 長崎 明男 (第2・4週) | | 三浦 明 | |
| リウマチ内科 | | | 苅部 明彦 (循環器専門) ※2 | | 齋藤 輝信 | | 齋藤 輝信 |
| 小 児 科 | | (午後) 小林 康子 (成長発達) | 小林 康子 | 小林 康子 (乳児健診・予防注射) | (午前) 小林 康子 (午後) 大村 清 (小児筋神経) | | |
| 脳神経外科 | | 永松 謙一 (第1週) ※3 | | | | | |
| 泌尿器科 | | | | 東北大学医師 (第2・4週) | 武弓 俊一 | | |
| 遺伝カウンセリング | | | | | | (午後) 苅部明彦または高橋俊明 ※2 | |
| もの忘れ外来 ※4 | | 大泉 英樹 | 田中 洋康 | 馬場 徹 | 武田 篤 | 金原 禎子 | |
| 禁煙外来 | | | | 武田 篤 | 苅部 明彦 | | |
| 歯 科 | | | | | | 佐藤 敦 ※5 | |

平成28年11月1日 現在 ※1 脊柱側弯症の新患患者様のご紹介は、側弯症外来日(金曜)にお願い致します。
 ※2 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。
 ※3 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。
 ※4 もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。
 ※5 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。



独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院

〒982-8555
 宮城県仙台市太白区鉤取本町2丁目11-11
 ◎電話：022-245-2111(代表)
 ◎FAX：022-243-2530
 ◎URL：http://www.nishitagahosp.jp/

地域医療連携室(直通)
 ◎電話：022-245-1810
 ◎FAX：022-245-1811

発行/仙台西多賀病院地域医療連携室
 発行責任者/地域医療連携室長 高橋 俊明

※仙台地下鉄を利用して来院される場合は八木山動物公園駅または長町南駅をご利用ください。
 ※東北道を利用して来院される場合は仙台南ICをご利用下さい。
 (東北道～山田ICまた、山田IC～東北道はご利用できません。)

